

# 松沢宥さん作品 11施設で展示へ

下諏訪出身の芸術家 「生誕100年祭」29日から

コンセプチュアル・アート（概念芸術）

のジャンルを開拓した下諏訪町出身の芸術

家、松沢宥<sup>ゆたか</sup>さん（1922～2006年）

の「生誕100年祭」実行委員会は24日、

町内外で29日に始める催しの詳細を発表し

た。3月21日までの期間に、計11施設で松

沢さんにちなむ作品を展示する。

松沢さんは絵画や彫刻など物質にとらわ

れず、文字やパフォーマンスといった形式

で自身の思想を伝えたことで知られる。今

回のメインは町内の旅館や喫茶店などで開

く「まちなか展覧会」。各店舗の雰囲気

に合わせて松沢さんの写真やポスターを飾つたり、未公開作品を含む絵画約30点を展示したりする。

催しを盛り上げようと、下諏訪商工会議所も松沢さんの作品に多いピンクを基調とした旗を用意。24日には商議所職員がオルゴール通り駅前商店街に設置した。

イベントは2月2日から県立美術館（長野市）で開く松沢さんの回顧展に合わせて企画。実行委は、諏訪の信仰や民俗を研究する団体「スワニミズム」の美術部を中心につくっている。